

リーディングDXスクール事業【実践事例】

四国中央市立川之江小学校

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた実践の共有 2

ICTを活用した授業実践をクラウド上で実践した資料の共有

月	教科	教材名	写真(子どもの様子なども)	リンク	活用方法	児童の様子
4月	社会	わたしたちの県(都道府県)		https://wordwall.net/ja/4000/templates/labeling-diagram	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県の位置がわからない児童が多いため、線を結んで場所を理解させるようにした。 ※地方ごとのものなどいろいろなものがあるが、自分で作成可能である。(無料版は5つまで) 	<ul style="list-style-type: none"> 書くよりも簡単なので、まずは都道府県の位置関係を理解させるようにした。線で結ぶだけなので、苦手意識を軽減し、楽しそうに取り組む様子が見られた。
5月	図工	絵の具でゆめちようまぼろしの花			<ul style="list-style-type: none"> 自分の作品は写真を取り、ゆに挿入させた。 デジタルツールキットで作成、観察実験ソフトに入れ、テキストをピン留めし、配布した。 成果時には、上半分は名札として活用し、下半分は生徒間通信を使って、友達の良いことを伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 注目する視点を与えることで、じっくりと鑑賞する様子が見られた。作品だけではなく、上半分を掲示することで、タイトルや工夫したことを合わせて見ることができた。
5月	社会	私たちの県		https://wordwall.net/ja/4000/templates/labeling-diagram	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県の市町の名前が分からない児童が多いため、線を結んで場所を理解させるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム感覚で楽しみながら取り組んでいた。

単元の終わりには、授業実践を振り返り、活用方法や実際の児童の反応なども含め、クラウド上に保存し、全教職員で共有しています。活用した資料のリンクや、自作した資料のリンクも貼り、端末上ですぐに活用できるようにしています。

共有した実践の改善と充実

学年団で活用する中で、校内研修や学年団の話し合いを行い、より良い実践となるよう改善を図るようにしています。

